



地形を生かした 二ホンジカ防護柵設置の取り組み

高知中部森林管理署 猪野々・岡ノ内森林事務所

首席森林官

森下 嘉晴

地域技術官

萩野 伸二

はじめに



防護柵の補修を要する主な原因



①二ホンジカ等、野生動物の
ネットへの絡まりによる破損

防護柵の補修を要する主な原因



②落石や崩土の堆積による破損

防護柵の補修を要する主な原因



③倒木による破損

防護柵の補修を要する主な原因



④林地崩壊による破損

防護柵の補修を要する主な原因

年間を通して多く発生している事案

①二ホンジカ等、野生動物の
ネットへの絡まりによる破損

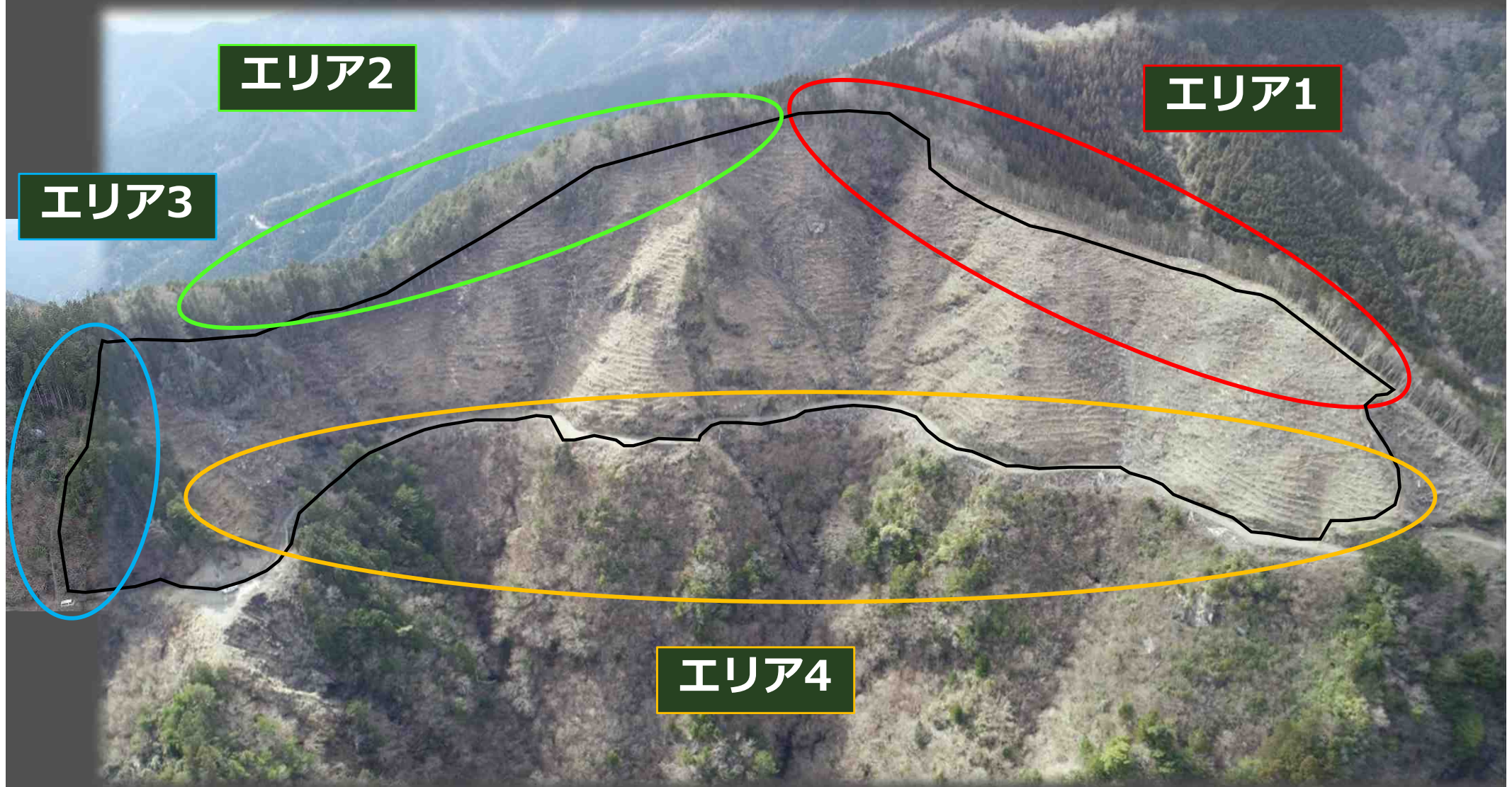
②落石や崩土の堆積による破損

③倒木による破損

④林地崩壊による破損

地形を利用して設備の破損の減少
と補修にかかる労力の軽減を図る

柚ノ木山5は林小班 (3.92ha)



エリア4: 崖絶地帯、林種不明、樹高が緩やかに減少あり
区域外は稜線が緩やかで歩道あり

検討結果

①防護柵

網目10cm + スカートネット



網目7cm(高強度繊維入り) L字仕様

②施工方法

皆伐地内



区域外の稜線や尾根、林道へ設置

エリア1



エリア2



歩道

エリア3



エリア4



豪雨時の土石等によるネット破損を防止

エリア2



エリア1



エリア3



エリア4



設置後約 3 年間の補修回数

	R 1	R 2	R 3	計
ニホンジカの絡まり	0	0	0	0
イノシシによる穴あき	1	1	1	3
ノウサギによる噛み切り	2	4	4	10
落石の堆積による破損	1	0	0	1
崩土の堆積による破損	0	0	0	0
倒木による支柱の折損	1	0	0	1
風による支柱の折損	7	6	0	13
林地崩壊による破損	0	0	0	0

今回の取り組みにおける長所

① 網目 7 cm ネットの L 字仕様

- ・二ホンジカの絡まりに有効
- ・地盤を押さえる効果
- ・野生動物の侵入を防止

今回の取り組みにおける長所

②保護樹帯や稜線を利用

- ・落石や崩土による破損減少
- ・伐採跡地の隅々まで植栽可能



今回の取り組みにおける長所

③ 林道への防護柵の設置

- ・ 落石や崩土による破損減少



今回の取り組みにおける長所

④コストダウン

谷部で区切る場合 (3.72ha)

単木保護0.96ha



+

防護柵2.76ha (1,780m)



約20%の
コストダウン



今回の施工方法 (3.92ha)

防護柵3.92ha (1,821m)



今回の取り組みにおける短所

① 網目 7 cm ネットの L 字仕様

- ・ ノウサギの侵入
- ・ アンカー杭が多く労力がかかる



今回の取り組みにおける短所

② 保護樹帯の林内や稜線を利用

- ・ 林内の施工は労力がかかる



今回の取り組みにおける短所

③ 林道への防護柵の設置

- ・ 路盤が固く支柱等が立たない
- ・ 幅員が狭くなる



今後の課題

①林道への設置には

- ・ 路面流出による破損のおそれのない林道
- ・ 幅員が減少しても問題ない林道

②ノウサギの侵入を防ぐには

- ・ 侵入できない網目のネットや忌避剤の利用

③林内の設備の点検は

- ・ ドローンによる点検が出来ない

まとめ



ご清聴ありがとうございました。

